

6 風害

(1) 風害の実態と様相

温室、ビニールハウス、鉢棚、日除けなどの施設に対する風害が大きい。従来は、風当たりの少ない場所を選んでこれらの施設を設置していたが、規模拡大や協業などで広い場所を必要とする場合、やむを得ず風当たりの強い所でも施設を設けている場合があるのでとくに注意が必要となる。

温室、ビニールハウスは風を室内に含むと全体を持ち上げるような上向きの風となり、ガラスが飛び、ビニールが破れるので、密閉状態にしておく。換気扇のある場合は排出に運転しておく方が風害が少ない。

屋外の鉢棚は鉢を棚の下に入れ、鉢板が飛ばないように結んでおく。日除けの施設は被覆を取り除くか、束にして数ヶ所結んでおく。鉢をあらかじめ倒しておくことも、被害軽減につながる。

風上から器物等が飛来して破損させ、そのために被害を大きくするので、よく点検しておくことが大切である。

(2) 作物の風害対策

ア. キク

ネットが倒れないよう支柱を点検し、ネットの補強を行い、弱い場合は追加する。ネットが低い場合は途中折れすることがあるので上面に追加するか、ネットを引き上げ、周囲を強いヒモで補強する。倒伏した場合は早く起こし、枝の曲がりを防ぐとともに病菌の侵入を防ぐために薬剤散布する。晴天下で1-2日放置すると茎が曲がって戻らなくなり、商品価値を著しく損なう。しばしば被害のある所では防風垣を作る。